エベーロ・プランク 施工説明書

・このたびは、弊社商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。本書には施工に関するポイントや注意事項をまとめております。商品の特性をご理解いただき、安全でより美しい仕上がりに施工していただくために、施工前に必ず本書をご一読くださいますよう、お願いします。
・品質管理には万全を期しておりますが、万一不都合な品物がございましたら、お手数でも、製造と受付番号または注文番号を添えて、0120-468-838まで、すぐにご連絡ください。施工前に限り、代替品と交換させていただきます。
施工後の交換や補修は多大の労力と経費を要しますので、必ず施工前にご確認をお願いします。

安全上のご注意

注意

※この表示の欄は「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害、損害の程度」です。

- 接着剤を使用する際は、換気を十分に行ってください。
- 接着剤を使用する前に必ず接着剤容器に記載されている、安全上の注意、使用方法、使用上の注意を読み正しくご使用ください。
守らない場合、健康を害するおそれがあります。

施工上のご注意

①この商品は、一般内装（住宅）用の床材です。
屋外及び重歩行（土足）用、業務用として使用される居室にはご使用になれません。また、屋内でも浴室など、湯気にさらされたり、たえず水がかかったりするところでは、ご使用になれません。
②この商品のJASの曲げ性能区分は「直張用」です。
必ず捨て貼りが必要です。（根太に直接施工はできません）
③床暖房に施工する際は、床暖房放熱体メーカーの施工説明書をよく読み、注意事項を守って、正しく施工してください。なお、適合機種については当社のカタログをご参照ください。
④直射日光に当たったり、雨に濡れる場所、湿気の多いところでは保管しないでください。
長時間、水に濡れたまま放置しますと、カビの発生や腐れ、変色、ひび割れ、はがれ、膨れなどの原因となります。また、立てかけ状態での保管を避け、開梱後は速やかに施工してください。
⑤下地が濡れていないことをご確認ください。下地が濡れていると施工後、フロアへのカビの発生、変色、突き上げ、スキ、反り、床鳴り（踏み鳴り）、膨れが発生する事がありますので、下地の含水率が確実に 14% 以下になってから施工してください。
⑥接着剤は必ずご使用ください。
指定以外の接着剤（木工用白ボンドなど）を使用すると、フロア施工後、床鳴り（踏み鳴り）や接着不良、スキ、反りなどのトラブルの原因となります。特に、指定以外の接着剤（木工用白ボンドなど）は、床暖房のパイプを劣化させる原因となりますので、床暖房には使用しないでください。
⑦指定以外の釘は使用しないでください。フィニッシュネイルなどを使用しますと、フロア施工後に床鳴り（踏み鳴り）、スキ、反り等の原因となります。
⑧施工前に必ず仮並べを行い、色の濃淡、杢柄など、部分的に片寄らないように、全体の色柄のバランスをご確認ください。
⑨施工工具は、各工具の取扱説明書に従って、適切に保護具（保護メガネ、防じんマスクなど）を使用してください。特に、フロアカット時は木粉により、むせる場合があります。
⑩木質フロアは湿度の変化により伸縮する性質があります。特にフロア長辺側の巾木や被せ見切りの下などには、必ずスキ間を設けて、伸びを吸収できるようにしてください。
⑪床施工の安定度をより高めるため、オン実とメン実の嵌合をかために設定しております。ご了承くださいますようお願いします。
⑫キャスター付の椅子や車いすをご使用されると、傷やへこみの原因となりますのでご注意ください。
⑬ピアノなど重い家具、電化製品等の下にはインシュレーターをご使用ください。

1 施工前の準備

1 梱包内容

①床材

タイプ	商　品　名	寸法	入数
1 × 6 タイプ	エベーロ・プランク	12×303×1,818㎜	6枚(3.3㎡)

②施工説明書
1部（本書）

2 使用する接着剤

・必ず、下記接着剤をご使用ください。

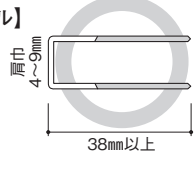
メーカー名	商　品　名	内容量	使用量の目安		可使用時間	作業温度
			床暖房用として施工する場合	非床暖房用として施工する場合		
コニシ㈱	夏用：KU928RS 4Lパック	5.5kg	8.3坪/パック	14.3坪/パック	40分	夏用(S):15～35℃
	冬用：KU928RW 4Lパック	5.5kg				冬用(W): 5～25℃
	KU928C-X アプリパック	600ml	1.1坪/パック	2.1坪/パック	―	―
オート化学工業㈱	オートンアドハー8000（フィルムパック・10本入）	880g/本	1.3坪/本	2.3坪/本	―	―

※商品番号末尾Sは夏期、Wは冬期使用タイプです。缶入りタイプを使用の場合は、ノズル付容器に入れてご使用ください。
※実接着には、1穴ノズルをご使用ください。

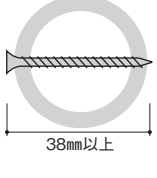
3 フロア固定用の釘

・フロア固定用の釘は必ずフロアステープルまたはフロアネイルをご使用ください。
・フィニッシュネイルは、固定する力が弱いため、絶対にご使用にならないでください。

【フロアステープル】



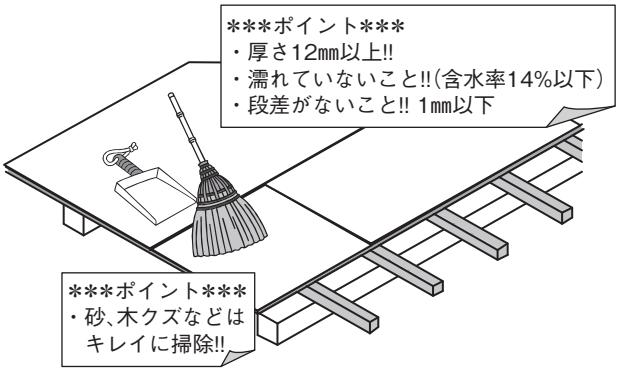
【フロアネイル】



【フィニッシュネイル】

2 下地の確認

1 捨て張り合板下地（ネダレス工法含む）の場合（適合床材:JAS根太張・JAS直張）



2 二重床下地の場合

・スラブ含水率が下がっていることを確認してください。含水率が高いと突き上げやふくれ等が発生します。
・二重床メーカーの施工説明書を読み、注意事項を守って正しく施工してください。
・下地材に床鳴りや異常なたわみのある箇所がないか点検してください。

3 床暖房を設置する場合

・床暖房放熱体メーカーの施工説明書をよく読み、注意事項を守って、正しく施工されているか確認してください。
なお､二重床に床暖房を設置されている場合は、ベースパネル（パーティクルボードなど）に捨て張り合板が施工されています。この捨て張り合板の接続箇所が、ベースパネル（パーティクルボードなど）の接続箇所より、100㎜以上離れているか確認してください。
・床暖房放熱体の「通湯（漏洩）・通電テスト」､「試運転」など、機器の工事および検査が完了してから施工してください。

3 施工の手順

手順1 美しく、バランスよく並べる。

1 仮並べ

ポイント

・施工する前に必ず仮並べを行い、色の濃淡・杢柄などが部分的に片寄らないように、全体の色柄のバランスを確認してください。

2 割り付け

ポイント

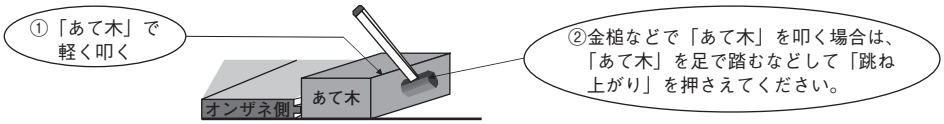
・短辺の接続箇所が隣り合わないようにする。
・606㎜(2尺)ずらし、909㎜(3尺)ずらしをおすすめします。
短辺の接続箇所が隣り合わせになっていると、施工後にフロアのスキ、段違い、床鳴り（踏み鳴り）などの不具合が発生することがあります。

ポイント

捨て張りの場合	床暖房の場合
・フロアの接続箇所と下地の接続箇所は100㎜以上離れるように割り付けてください。	・床暖房放熱体の「釘打ち可能部分」に従って､割り付けてください。

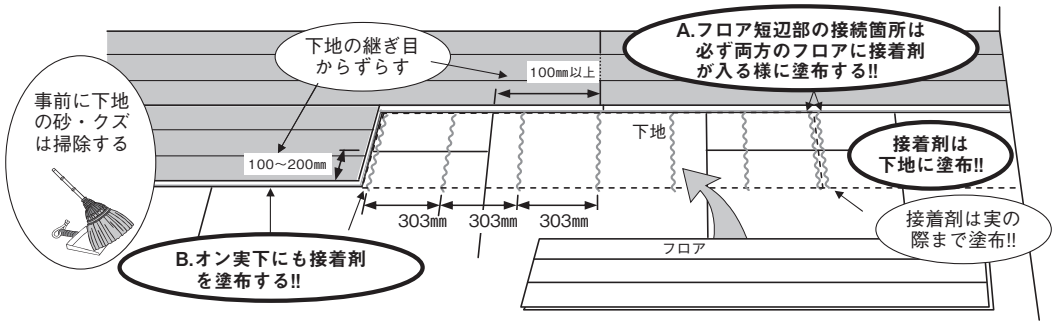
手順2 スキ間なく寄せる

1 寄せる

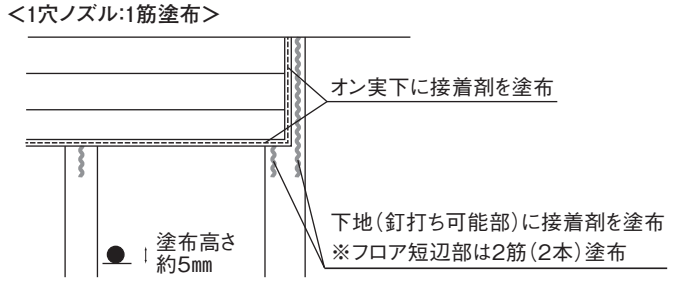


手順3 しっかりと固定する

1 接着剤の塗布

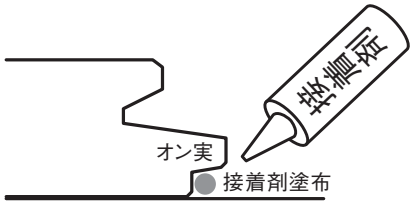


A. 接続箇所の接着剤塗布方法



B. 実部の接着剤塗布方法

〈床 暖 房 部〉・フロア短辺部と長辺部のオン実下に接着剤を塗布
〈非床暖房部〉・フロア短辺部のオン実下に接着剤を塗布

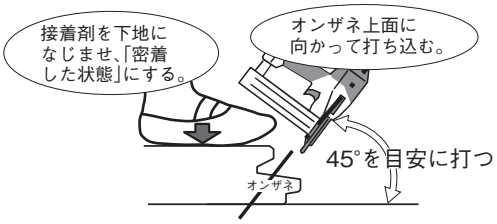


・小根太のない部分にはパイプが内蔵されており、釘打ちの際、誤ってパイプを打ち抜く恐れがあります。
・接着剤に記載の使用方法を良く読んで正しくご使用ください。(衣類などに接着剤が付くと、取れなくなりますので、十分ご注意ください。)
・床材の表面に接着剤が付いた時は、すぐに乾いた布で拭き取るか、アルコールを含ませた布ですぐに拭き取ってください。
※接着剤は湿気で固まりますので、水拭きはしないでください。所定通り接着剤を塗布しないと、スキや床鳴り（踏み鳴り）の原因となります。

手順3　しっかりと固定する

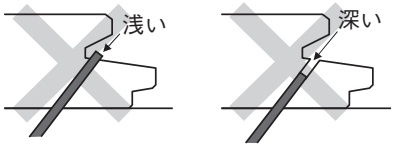
2 釘の打ち方

・フロア上での作業時は､表面に傷や汚れをつけないように、十分にご注意ください。
・釘を打つ際は、オンザネを破壊したり釘の頭による膨れが表面に出ないよう45°を目安に打ってください。



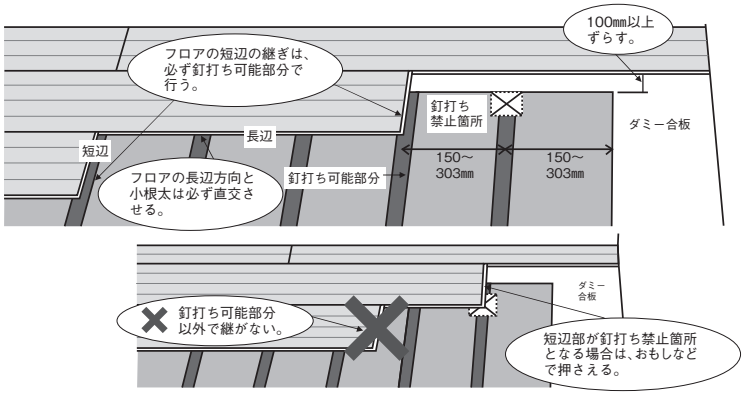
打ち込みの深さ調整

・施工前に必ず試し打ちを行い､打ち込む深さを調整してください。



■割り付け【床暖房用として施工する場合】

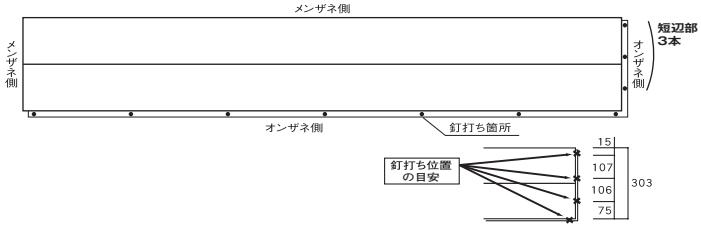
・床暖房用の場合、放熱体の「釘打ち可能部分」以外では、絶対に釘・仮り釘（フィニッシュネイル含む）などを打たないでください。「温水パイプ」や「電気配線」を打ち抜いて、漏水・漏電の原因となります。
・釘打ち可能部分以外にフロア短辺の継ぎ目を割り付けると、釘固定ができずスキの原因となります。



■釘打ちの位置【1×6タイプ(303㎜巾)の場合】

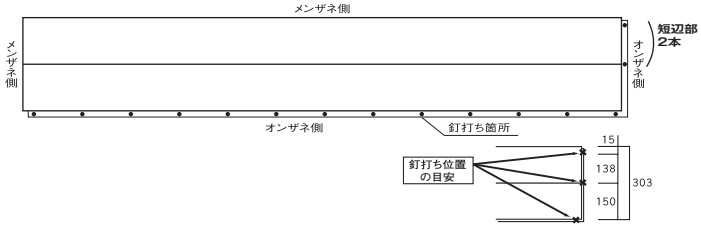
【床暖房用として施工する場合】

・フロア1枚あたり長辺方向に7本（303mmピッチ）短辺方向に3本打ち込んでください。
・温水マットの小根太の延長線上で小根太が無く釘が打てない場合は、その周辺を重しで押さえてください。



【非床暖房用として施工する場合】

・フロア1枚あたり長辺方向に13本（150mmピッチ）短辺方向に2本打ち込んでください。
・非床暖房用では、長辺方向の実接着をしないため、釘打ちを150mmピッチとしています。



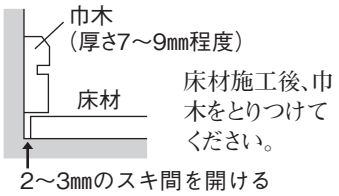
■床暖房までに必要な期間

・接着剤が硬化するのに必要な期間を、十分に取ってから床暖房の運転を開始してください。
（5℃以下で6日以上、5～15℃で4日以上、15℃以上で2日以上）

手順4　キレイにおさめる

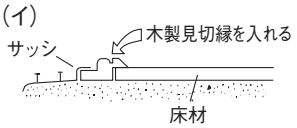
1 おさめ方

(a)壁際

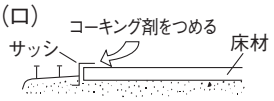


(b)掃き出し窓　床材がサッシに直接ふれると､結露水がしみ込んで膨れや変色などになることがあるので以下の方法でおさめてください。

(イ)



(ロ)



【床暖房用として施工する場合】

・**一続きで使用できる長さは、一辺10mまでとしてください。（上記方法で部屋周辺をおさめる場合）**

床暖房用の仕上げ材として「木材のくせ」をできる限り抑えるようにしてありますが、部屋の広さや壁際のおさまりなどによっては､壁際にスキ間ができることがあります。

手順5　施工後も美しく（養生）

1 養生

・施工後は直射日光を避け、傷や汚れを防ぐために、養生シートを被せ、「内装床材対応用の専用養生テープ」で固定してください。その上に合板、養生ボードを敷いて十分に養生してください。なお、養生シートとフロアの間に、ゴミなどが無いようにフロア表面を、必ず掃除して下さい。

・養生シートは必ず、壁際、サッシ際まで被せてください。養生シートが被っていない場所は、直射日光にあたり、色が変わる場合があります。

・養生シートは平面（フラット）タイプをご使用ください。凹凸（エンボス）タイプの養生シートを使用すると、艶ムラや養生シートの跡が残ったりしますので使用しないでください。

・養生に梱包用テープなどを使用した場合は、粘着力が強く、フロアの化粧面を破損させたり、粘着剤が残ったりする可能性があります。

4　お引き渡しまでの間のご注意

1 換気についてのご注意

・当商品はＦ☆☆☆☆タイプとなっておりますが、お引渡しまでの間できるだけ、居室等の換気につとめてくださいますようお願いいたします。
・換気することにより、湿気が室内にこもらず、突き上げ等の対策となります。

2 水濡れ等に対するご注意

・工事完了後は、雨水に濡らさないよう窓の閉め忘れなどにご注意ください。万一、水濡れした場合はすぐに拭き取り、十分に乾かしてください。濡れたまま放置しておくと、膨れや変色などになることがあります。

【工事業者様へ】施工終了後、この施工説明書はクリーニング業者様へお渡しください。

■ワックスについて

エベーロ・プランクには、ワックスがけは必要ありません。

・ワックスがけを希望される場合は、ワックスがけは可能です。
但し、ワックスをかけた場合は、フロアの表面がワックスの被膜となり、製品の塗膜本来の仕上がりとは異なります。（艶が上がったり、傷の付きにくさや平滑性が変わるなどの違いが現れます。）

ワックスがけをされる場合は、下表に記載のものをご使用ください。

・ワックスがけをされる場合は、ワックスに記載の使用上の注意をよく読んでからご使用ください。
また、事前に試し塗り等で仕上げの確認を行うことをお薦めします。

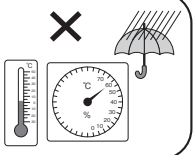
メーカー名	商　品　名	業務用	家庭用
㈱リンレイ	ハイテクフローリングコート	○	○
	ハイテクフローリングコートつや消し40	○	—
	ノンブライト	—	○
コニシ㈱	ワックス職人	—	○
ペンギン㈱	セミコートエコゴールド	○	—
	ニューコータック	—	○

ポイント
・ワックスは木質床用水性樹脂ワックスを使用してください。
・ロウタイプは使用しないでください。

ワックス使用時の注意事項

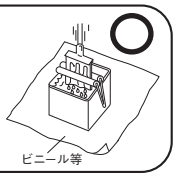
・ワックスは**絶対に床の上に流さない**でください。
床面にワックスを流したり、しずくが落ちるような布で塗ったりすると、部分的にフロア表面の美観を損ねることがあります。

・室内の**温度が5℃以下**の時や**雨の日で湿度が極端に高い**時はワックスは使用しないでください。
床の表面が白っぽくなる原因となります。



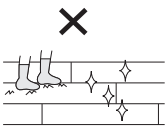
・ワックスがけの前後で**化学雑巾は使用しない**でください。
床の表面が白っぽくなる原因となります。

・ワックスはきれいな布に含ませ、**しずくが落ちない程度に絞って床面にムラなく**塗りひろげてください。
・容器の下にはビニール等を敷いてください。

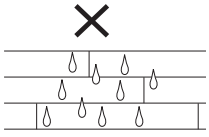


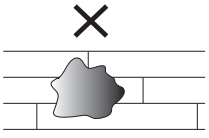
・ワックスがけの際は、**換気を行って**ください。
湿気がこもり、ムラ等の原因になります。

・ワックスを**厚く塗りすぎると、歩行時にワックスの被膜の割れる音が発生**することがあります。



・ワックスをかけるときは、**床面が十分に乾燥している**（水気がない）ことを確認してください。
・床用洗剤を使用する時は、**洗剤分が床に残らないように拭き取ってから**ワックスを塗ってください。





●●● sanwacompany

株式会社サンワカンパニー / **SANWA COMPANY LTD.**
●お客様相談センター　受付時間：土・日・祝日を除く　9:00～17:30　TEL：0120-468-838　FAX：0120-382-096